

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和3年10月
枚方市立山之上小学校

文部科学省が今年5月に実施した、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします

【全体概要】

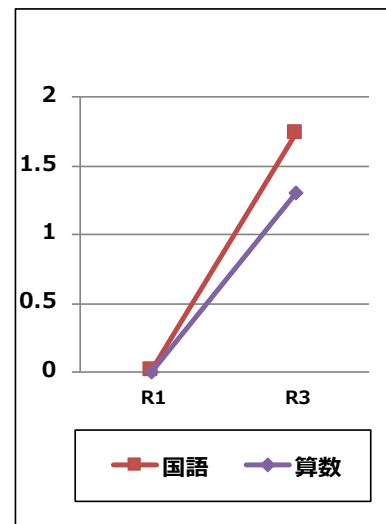
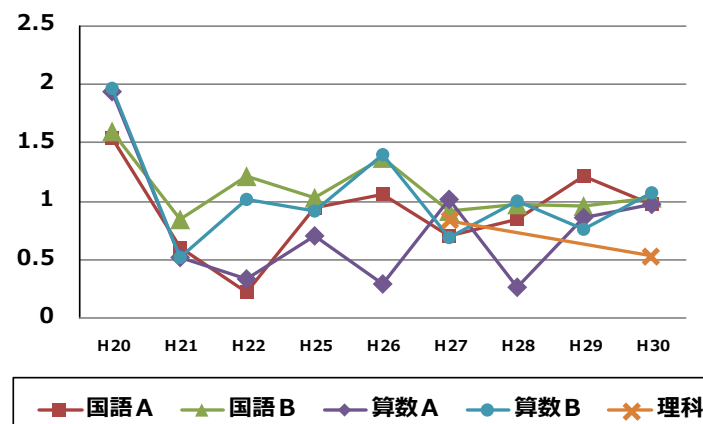
学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。
(※令和元年度より、A・B問題が一体化されましたので、グラフを分けています。)

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

無解答率経年比較(対全国比)

(全国の平均無解答率を1とした経年比較)



無回答率
(対全国比)

国語	1.7
算数	1.3

<学力調査結果の概要>

○国語について
→目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。

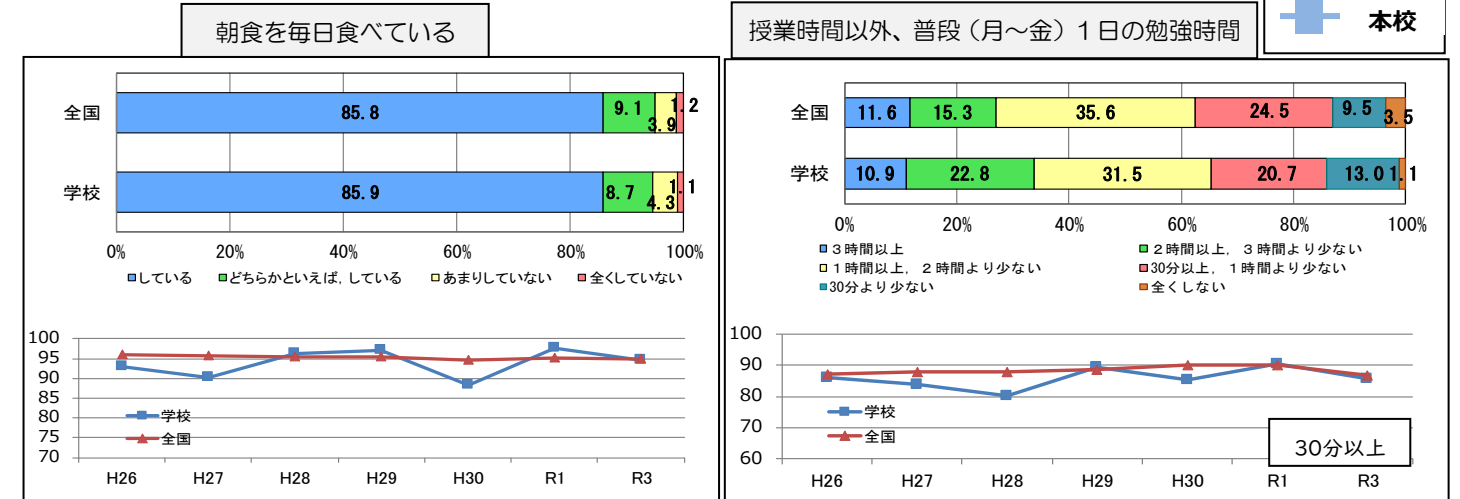
○算数について
→図形の構成や資料の特徴を正しく読み取ったり、記述説明したりすることに課題が見られました。

※本調査は、平成19年度から実施されています。
※平成23年度・令和2年度は中止、平成24年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

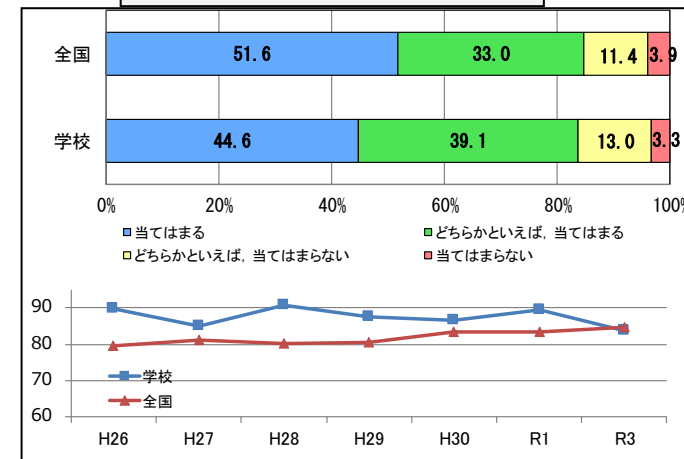
質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

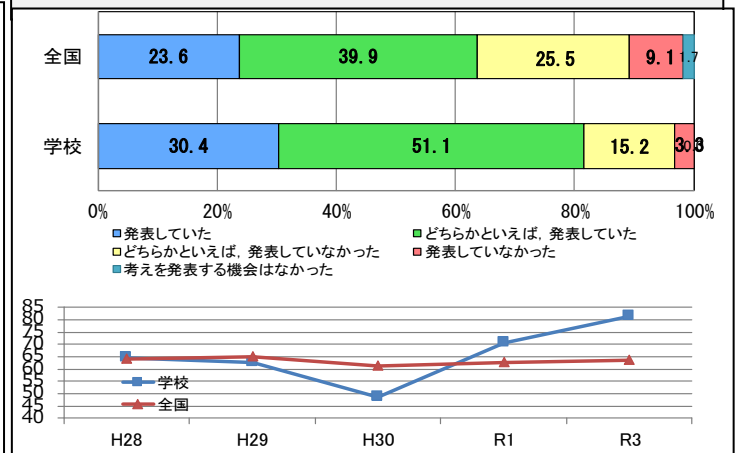
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



算数の授業はよくわかる



授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章話の組み立てなどを工夫して発表している



<質問紙調査結果の概要>

- 生活改善について
→一日を快活に進められるよう、朝食の喫食率100%を目指します。
- 家庭学習について
→引き続き児童が主体的に学習に取り組む態度の育成を進めていくことが重要だと考えます。
- 授業改善について
→分かりやすい授業づくりを進めることで、学習の定着につながっていると考えられます。学校一丸となって取り組んでいくことが重要だと考えます。

まとめ

概ね基礎的・基本的な学習内容が定着しているといえますが、複数の資料から情報を読み取り、自分の言葉で考えを明確に伝えることや、目的や条件を明確に意識し、必要な情報を見つけ出すことに課題があります。じっくりと物事に対峙する態度・姿勢の育成、自分の考えを整理し、表現することが課題の克服につながると考えます。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

【詳細について】

教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

【成果】 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う

- 1 審判会は九時より始まり、
 - 2 雨天により試合は延期になりました。
 - 3 会場へは正門よりお入りください。
 - 4 今年の夏は去年の夏より暑いです。
- 二 相川さんが読んだ「資料」の文の「より」と同じ使い方のものはどれですか。最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- そのための「一つ」取り外さなければならぬ。ホッパやボタン「より」留め外しの簡単な面ファスナーの方が、留め具として通っていたのです。

	正答率	無解答率
本校	87.5	0.3
全国	89.0	0.0

(考察) 資料の中の「より」の使い方を適切に捉え、それと同様の使い方をしている文章の「より」を見つける問題です。学校全体で伝える力の強化に継続して取り組んでおり、その中で言葉の特徴や使い方を身に付けています。今後も、継続して伝える力の強化について取り組んでいきます。

	正答率	無解答率
本校	34.4	4.1
全国	29.7	8.8

(考察) 複数の資料から、必要な情報を読み取り、活用する力が問われた問題です。問いは「ヒントになったこと」と「仕組み」の両方を求めています。片方だけの回答が目立ちました。今後、国語に限らず、様々な教科の授業において資料の読み取りを大切に、その時々で必要とされる情報収集・活用力を高めていきます。

<算数>

成果や課題があった設問

【成果】 データを表に分類整理する

(3) まず、読書が好きかどうかについて、図書室で本をよく借りているかどうかについて、2つの質問の結果に着目しました。

質問1「読書が好きですか」
はい …… 171人
いいえ …… 18人

質問2「9月に図書室で5冊以上借りましたか」
はい …… 61人
いいえ …… 128人

ひより 読書が好きなのは171人もいるのに、9月に図書室で5冊以上借りました人は61人しかいませんね。

そうた 読書が好きなのに、図書室で本をあまり借りなかった人は何人くらいいるのでしょうか。

2つの質問の結果について、下の表に整理し直すことにしました。

図書アンケートの2つの質問の結果 (人)

	9月に図書室で5冊以上借りましたか		合計
	はい	いいえ	
読書が好きですか	①	②	③
はい	④	⑤	⑥
いいえ	⑦	⑧	189

「読書が好きですか」に「はい」と答えていて、「9月に図書室で5冊以上借りましたか」に「いいえ」と答えている人は、114人いることがわかりました。「114」は、表のどこにあてはまりますか。①から⑧までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	72.5	1.1
全国	67.5	1.7

(考察) データを二次元の表に分類整理する問題です。その際、表にある二つの観点を捉え、各欄の意味を理解することが必要です。また、多くの情報が提供された問題文から必要な情報を取捨選択する力も必要とされています。

様々な教科において、データを分類整理して、その事象をよりわかりやすく捉える活動をしてきました。今後も継続して、生活の中で生きる力になるよう取り組んでいきます。

【課題】 目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つける

三 相川さんは、「資料」の……部を読み、面ファスナーのくつつく仕組みについて考えています。イラストは、河をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)
○ ヒントになったこと、面ファスナーのくつつく仕組みが分かるように書くこと。
○ 「資料」の中の文章と……の「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 五十文字以上、八十文字以内にとめて書くこと。

※ 本のけんこう用紙は書き用紙なので、使っても構いません。解答は、解答用紙に書きましょう。●の印から書きましょう。どこまで行っても構いません。続けて書きましょう。

相川さん

【課題】 基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する

(3) 14mのテープと20mのテープがあります。こはるさんは、14mは20mの何割かについて考えています。たくみさんは、12mは30mの何割かについて考えています。

こはる $14 \div 20 = 0.7$ で、0.7倍です。0.7倍というのは、20mを1としたとき、14mが0.7にあたることを表していましたね。

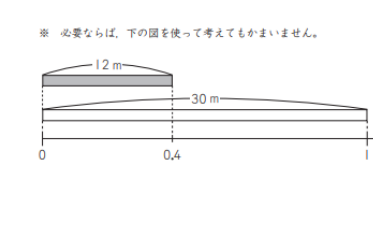
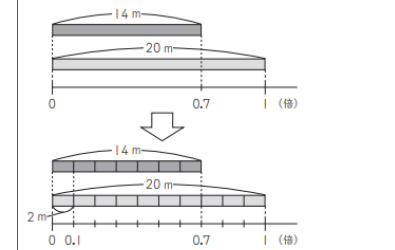
たくみ $12 \div 30 = 0.4$ で、0.4倍です。

れんと 20mを1としたとき、14mが本当に0.7にあたるのかな。

さくら 30mを1としたとき、12mが本当に0.4にあたるのかな。

れんさんの話を聞いて、ゆうまさんは、20mを1としたときに14mが0.7にあたるわけについて、20mを10等分した1つ分の長さが0.1にあたることをもとにして考え、下のようにならべて説明しました。

30mを1としたときに12mが0.4にあたるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1にあたる長さがあるようにして、言葉や数を使って書きましょう。



【ゆうまさんの説明】
20mを1としたとき、0.1にあたる長さは2mです。14mは、2mの7つ分になるので、20mを1としたとき0.7にあたる。

	正答率	無解答率
本校	50.5	11.0
全国	51.5	10.3

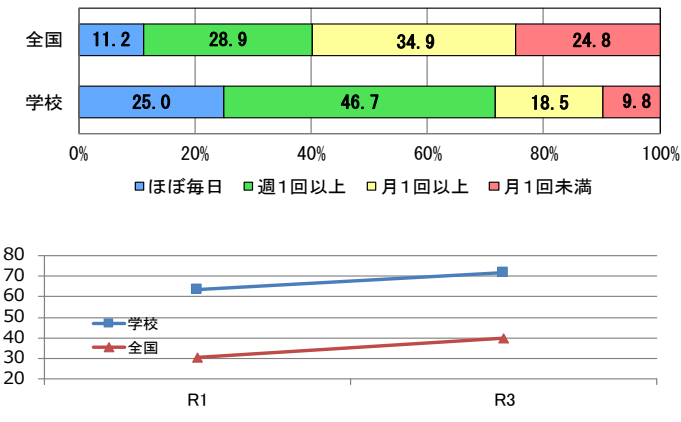
(考察) この問題では、小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述できる必要があります。算数においてどのように記述説明をすればよいのか戸惑った児童が少なくありません。授業の中で、記述による算数的説明場面を多く持ち、その技能を高めていきます。

質問紙に関する調査

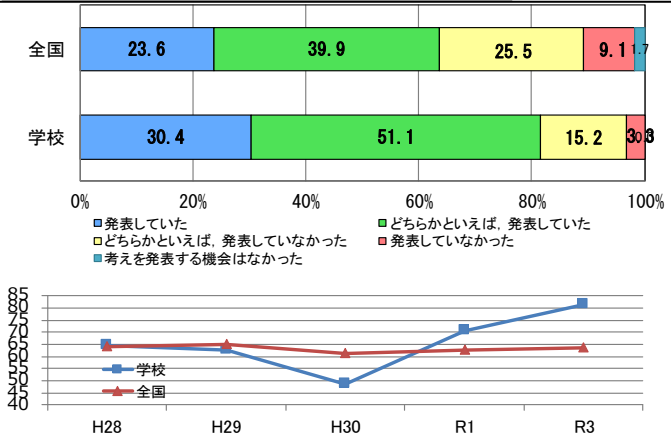
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果のあった項目】

5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

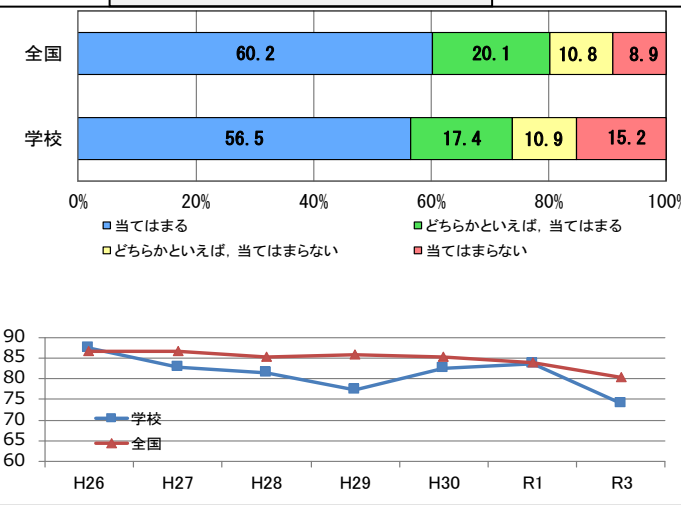


授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

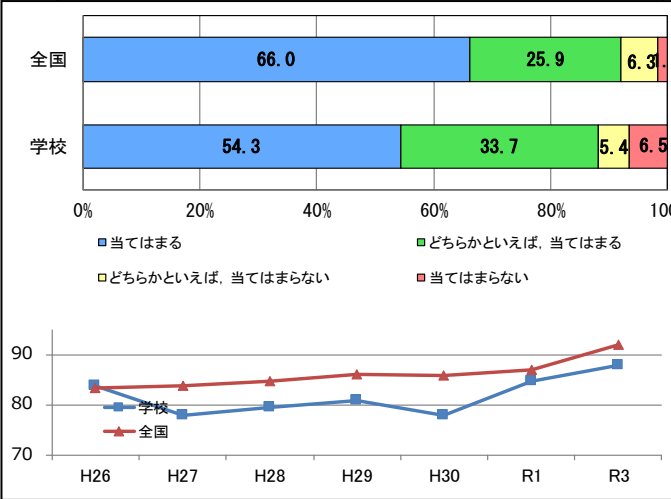


【課題が残った項目】

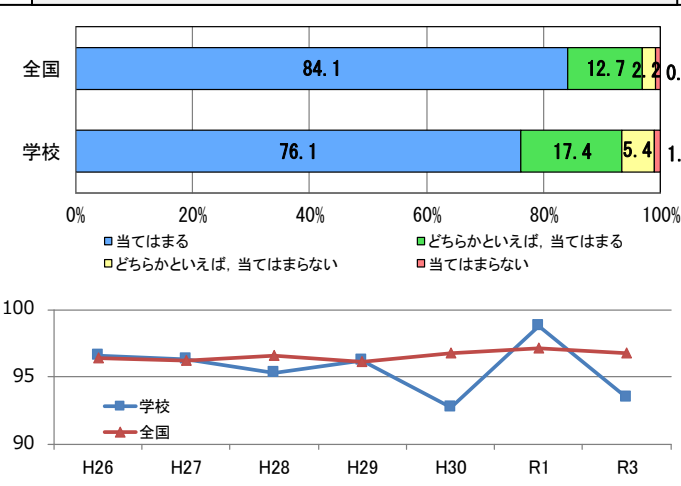
将来の夢や目標を持っている



算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



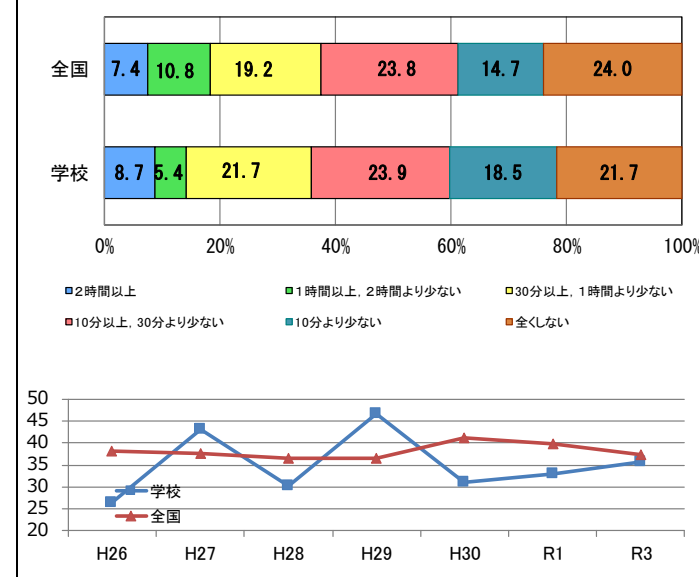
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



(考察)

前回まで上昇傾向だった「将来の夢や目標を持っている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目が低下し、全国平均を下回りました。また、「算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」では、上昇傾向にあるものの、全国平均を下回っています。コロナ禍の中で希薄になりがちな人と人とのつながりを今一度見直し、授業や教育活動の中で工夫をして人と人とのつながりを深めていき、将来への希望の中で目標を持てるよう、時代や児童の実態に合わせて、今後も教育活動を進めていきます。

学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。



(考察)

「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」の項目では、全国平均を上回り、前回より高い割合となりました。また、課題であった「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」の項目では、前回の結果を上回り、全国平均に近づきました。今後も、予測困難な時代を生き抜く力を育むための力を育むため、集団生活での人間関係づくりを大切に、授業の中で学び合う活動を積極的にICTを活用しながら工夫して取り入れ、児童の学習ニーズに合わせた授業づくりを進めていきます。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

- ・Hirakata 授業スタンダードに基づいた授業改善を進め、「主体的・対話的で深い学び」を目指します。
- ・授業の導入場面で前時の復習を行ったり、様々な計算のきまりを含んだ問題に取り組んだりすることで、基礎基本の徹底を図ります。
- ・学習活動の中に思考ツールを取り入れ、自らの考えを可視化して整理することで、言語活動の一層の充実を図ります。
- ・まとめや問題考察の場面で、自分の考えを表現する機会を増やします。(条件を指定して書かせる等の活動)
- ・ペアや班で意見交流をする協同的な学びの場面をICT等を工夫しながら、設定します。(考察・予想・まとめなど)
- ・授業用タブレット等、ICTを活用した授業の一層の充実を図り、時代のニーズに即した授業づくりを行います。

(2) 家庭学習について

- ・基礎的・基本的な学習の定着を目指して毎日の宿題を設定します。
- ・自分に必要な学習について、自ら計画し、工夫して取り組む力の伸長を図るために、自主学习ノートなどの活用を行っていきます。
- ・各家庭において、1学期に学校から配付した「家庭学習の手引き」を活用していただき、家庭学習の時間や方法などを児童と話し合う機会を持っていただきますようご協力よろしくお願い致します。